

## 2022年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	伊藤直子	職名	教授	学位	学士(社会学)(佛教大学 1996年)
----	------	----	----	----	---------------------

研究分野	研究内容のキーワード
公衆衛生看護学 地域看護	公衆衛生看護 介護保険 地域包括ケア

研究課題
<p>行政における看護職である保健師の機能と役割について考察する。また、それらの機能を学ぶための学士課程実習での教育方法を検討する。</p> <p>地域包括ケアシステムにおける看護職の機能について検討する。</p>

担当授業科目
<p>公衆衛生看護管理演習(後期) 選択 14/14</p> <p>公衆衛生看護学実習(通年) 選択</p> <p>保健医療福祉行政と政策(前期) 選択 7/7</p> <p>保健福祉学入門(前期) 必須 2/8</p> <p>地域母子保健(前期)(助産別科) 6/8</p>

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【保健医療福祉行政と政策】</p> <p>「保健医療福祉行政と政策」は、3年生前期に配置された選択科目である。保健師課程の学生には必修科目となっているが、保健師課程を選択していないが科目内容に関心があり受講した学生もいる。</p> <p>科目内容は、既習した保健医療福祉の知識を基盤に、行政の施策及び政策の策定まで学習する内容となっているため、現存する日本における制度について具体的事例を通して、思考する構成としているため、課題及び個々の学生とのやり取りにより主体的学習を促した。</p> <p>結果、授業評価の質評価において、『わりにそう思う』『かなりそうだと思う』を合わせると、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」84.2%であり、意図した主体的学習を促すための教育方法については、一定の成果を上げた評価できる。</p> <p>本授業は、2022年度授業表彰(看護学科)を受けた授業となっている。</p>
<p>授業科目名【保健福祉学入門】</p> <p>「保健福祉学入門」は、1年生前期に配置された必修科目である。保健福祉学部の教育への導入科目となっている。看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。</p> <p>オムニバス形式の講義となるため、講義開始前の導入について、担当講師との打合せおよび調整を行った。各々の学科の学生は、他学科の教員の講義を聴くことで、自身の学ぶ学問領域の関心を深め、他職種と協働していくことの重要性を考えていくこと目的としている。</p>

授業科目名【 公衆衛生看護学実習 】

「公衆衛生看護学実習」は、コロナ禍の中、実習指導教員と実習施設指導者のコミュニケーションを十分に得ながら、学生の実習環境の整備に苦勞した実習となった。直接、住民と触れ合う場面に限界がある実習ではあったが、実習施設指導者の熱意に学生達の成果は、コロナ禍とはいえ、様々な形で得ることができた。

また、学生の学習意欲及び効果が得られるよう教員間の情報交換を密に行いながら、教育支援を行ったことにより、学生の教育支援が効果的に運営された。実習環境は行政の対応により異なるが、学習成果の達成状況に大きく差は見られず、全員の学生が到達レベルに達することができた。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護協会会員	訪問看護委員会副委員長 (1996年4月～1997年3月) 訪問看護委員会委員長 (1997年4月～1998年3月) 介護支援専門員支援委員会委員長 (1997年4月～2004年3月) 認定看護管理者研修委員会委員 (2001年4月～2006年3月) 介護保険関連委員会委員長 (2004年4月～2006年3月) 第46回日本看護学会－看護管理－学術集会抄録選考委員 (2014年3月～2014年9月) 消費税対応検討委員会委員長 (2015年11月～2016年7月) 日本看護学会学術集会抄録選考委員 (2022年3月～現在)	1977年4月～現在に至る
日本公衆衛生学会		1979年4月～現在に至る
日本地域看護学会		1999年4月～現在に至る
日本在宅ケア学会		2000年9月～現在に至る
日本保健医療社会学会		2002年4月～2014年3月
日本病院管理学会		2002年9月～現在に至る
日本高齢者虐待防止学会		2003年8月～現在に至る
日本看護教育学会		2003年2月～現在に至る
日本健康教育学会		2005年6月～現在に至る
日本看護研究学会		2008年4月～現在に至る
日本看護科学学会		2008年4月～現在に至る
日本臨床救急医学会		2011年8月～2016年3月

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(その他)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
福岡県介護保険審査会	専門調査員	2007年7月～現在に至る
北九州市社会福祉法人等審査会	委員	2012年4月～2020年3月
大分県地方独立行政法人評価委員会	委員	2012年6月～2022年6月
日本私立看護系大学協会	理事（業務執行理事）	2013年7月～2018年7月
粕屋町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定協議会	委員	2005年4月～現在に至る
粕屋町地域包括支援センター・地域密着型介護サービス運営協議会	委員	2007年4月～現在に至る
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議調整会議	構成員	2012年4月～現在に至る
北九州市高齢者支援と介護の質の向上介護予防・高齢者活躍推進に関する会議	代表	2013年4月～現在に至る

北九州市健康づくり推進プランの推進にかかると意見交換会	構成員	2014年2月～2021年3月
北九州市認知症施策推進会議（北九州市オレンジ会議）	構成員	2013年4月～現在に至る
全国保健師教育機関協議会	社員	2015年4月～現在に至る
福岡県総合計画審議会	委員	2016年7月～現在に至る
行橋市地域保健計画策定委員会	委員	2017年12月～2018年2月24日
行橋市地域保健計画推進委員会	委員	2018年2月25日～現在に至る
北九州市健康づくり活動表彰選考委員会	審査員	2018年10月1日～現在に至る
福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会	当番校	2021年4月～2022年3月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

学校法人西南女学院 評議員	2005年4月～現在に至る
学校法人西南女学院 理事	2021年4月～現在に至る
・学院将来計画委員会	
西南女学院大学・大学短期大学部 副学長	2022年4月～現在に至る
・大学点検評価改善会議 構成員	
・教学マネジメント検討会 構成員	
・入学試験会議 構成員	
・COVID-19 対策会議 構成員	
・将来計画検討プロジェクト会議 構成員	
西南女学院大学 保健福祉学部長	2021年4月～現在に至る
・非常勤講師候補者選考会議 構成員	
・動物実験委員会 委員長	
・地域連携室運営会議 構成員	
・学生総合支援室運営連絡協議会 構成員	